

「にいがた農業応援ファンド」の取組み

JAグループ新潟では「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とするJA自己改革を不断の取組みとしていくため、令和4年度から令和6年度の3年間における農業者への支援パッケージとして、「にいがた農業応援プログラム」を展開しました。

中でも、柱となる事業の一つである「にいがた農業応援ファンド」につきまして、令和6年度は、スマート農業等の導入による労働生産性の向上およびカーボンニュートラル等の環境負荷軽減に繋がる取組みを促進するため、「農業イノベーション応援事業」の助成枠を拡充しました。引き続き実施する「1億円園芸産地チャレンジ事業」、「園芸生産拡大支援事業」および「新規・親元就農応援事業」と合わせ、農業者の取組みを支援しました。

農業者の皆さまより多数の申請をいただき、審査・抽選の結果、4事業合計で316件・82,459千円の助成を採択いたしました。

今後、農業者の取組みを後押しする、より踏み込んだ支援に努めてまいります。

にいがた農業応援ファンド取組実績（令和6年度）（単位：件、千円）

| 事業名 | 採択件数 | 採択金額 |
|-----------------|------|--------|
| 1億円園芸産地チャレンジ | 157 | 46,641 |
| 園芸生産拡大支援（担い手向け） | 66 | 13,089 |
| 園芸生産拡大支援（産地向け） | 1 | 2,500 |
| 農業イノベーション応援 | 46 | 11,029 |
| 新規・親元就農応援 | 46 | 9,200 |
| 合計 | 316 | 82,459 |



にいがた農業応援ファンドを活用して導入した農機具

JA自己改革の取組み

令和7年度のプログラム実施内容

1.「にいがた農業応援ファンド」の展開

直面する課題の克服にチャレンジする担い手のあと一歩を応援し、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現に寄与することを目的としたファンドを展開する。

(1)内容

課題克服にチャレンジする担い手に、必要な資金の一部を助成する。

(2)助成額

50百万円

(3)助成対象事業

- ①園芸生産拡大支援
- ②農業イノベーション応援
- ③新規・親元就農応援

2.担い手向け金融支援の提供

(1)「担い手支援資金」(愛称:アグリV)の継続

借入当初3年間において利子補給により実質金利負担が最大年1.60%軽減となるアグリVの取扱いを継続する。

(2)アグリBIGの新設

借入当初5年間において、利子補給により実質金利負担が最大年1.60%軽減、保証料助成により保証料の実質負担がなくなる大規模投資向け資金アグリBIGを新設する。

(3)JA新規就農応援資金の新設

借入当初5年間において、利子補給により実質金利負担が最大年1.00%軽減となるJA新規就農応援資金を新設する。

3.プログラムの推進・支援体制の構築

(1)「担い手サポートセンター」との連携

中央会・連合会による事業横断的な担い手サポートセンターと連携し、担い手の多様なニーズへの総合的な対応に努める。

(2)専門家等の活用による相談支援機能の強化

担い手サポートセンターは、農業の現場に精通した専門家の活用により、担い手の相談支援に必要な体制を確保する。